

特別養護老人ホーム 笑寿苑

(入所定員：長期 50 名、短期 10 名、地域密着型 20 名)

ア) 入居者等の状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

出身地	小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
雲南 市	加茂町	35	0	4	7	9	15
	大東町	27	0	1	7	5	14
	木次町	3	0	0	0	1	2
	三刀屋町	3	0	0	1	0	2
	掛合町	0	0	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0	0	0
江津市	0	0	0	0	0	0	
松江市	0	0	0	0	0	0	
合 計	68	0	5	15	15	33	

イ) 入居者の年齢構成 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

100 歳以上	4 名
90 歳～99 歳	30 名
80 歳～89 歳	26 名
70 歳～79 歳	8 名
60 歳～69 歳	0 名

最高齢 102 歳、 平均年齢 88.8 歳【前年度 88.6 歳】、平均介護度 4.12【前年度 4.00】

ウ) 年度中の入居者移動状況

入苑者数	15 名 (前年度 23 名)
退苑者数	16 名 (前年度 24 名)

エ) 短期入所利用者数

月	利用者数	利用延べ日数	稼働率
4 月	33 人	263 日	87.7%
5 月	40 人	289 日	93.2%
6 月	33 人	252 日	84.0%
7 月	33 人	265 日	85.5%
8 月	35 人	285 日	91.9%
9 月	36 人	290 日	96.7%

10月	38人	280日	90.3%
11月	38人	292日	97.3%
12月	36人	291日	93.9%
1月	35人	300日	96.8%
2月	36人	275日	98.2%
3月	34人	259日	83.5%

平均稼働率 91.5%【前年度 94.2%】

オ) 職員配置数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

職 種	員数	正規職員		臨時 嘱託
		専従	兼務	
施設長	1		1	
事務職員	4	1	3	
介護支援専門員	1		1	
生活相談員	1		1	
看護職員	6	3		3
機能訓練指導員	1		1	
介護職員	40	34		6
管理栄養士	1		1	
介助員	1			1
夜間警備員	3			3
合 計	59	38	8	13

カ) 事業収入

①笑寿苑 (単位：千円) 前年対比：101.8% 計画対比：101.5%

	介護報酬	利用者 負担金	居住費 補足給付	居住費利 用者負担	食費 補足給付	食費 利用者負担	合 計
H27	197,800	21,654	12,611	13,779	20,865	11,798	278,507
計画	197,465	20,188	14,795	13,764	21,334	11,669	279,215
H28	199,147	21,990	14,078	14,932	20,322	12,994	283,463

②短期入所 (単位：千円) 前年対比：96.7% 計画対比：97.0%

	介護報酬	利用者 負担金	滞在費 補足給付	滞在費利 用者負担	食費 補足給付	食費 利用者負担	合 計
H27	25,775	2,869	348	3,604	420	3,823	36,839
計画	25,660	2,878	312	3,641	381	3,849	36,721
H28	24,913	2,777	419	3,470	507	3,531	35,617

キ) 行事・事業の実施状況

月	行事・事業
4月	レントゲン撮影、花見ドライブ、おやつバイキング

5月	家族会総会（清掃奉仕作業）、加茂中学校奉仕作業、チャレンジデイ
6月	笹巻き作り、おやつバイキング
7月	避難訓練、参議院不在者投票、夏祭り、民生児童委員奉仕活動
8月	七夕会、家族会役員会
9月	敬老祝賀会、実習生受け入れ
10月	中学生職場体験、ふれあい祭り、運動会、民生児童委員奉仕活動
11月	おやつバイキング、退公連女性部 古布切りボランティア
12月	忘年会、クリスマス会
1月	新年会、ホームケア実習生受け入れ
2月	節分祭、おやつバイキング、職員全体研修（救急法）
3月	ひな祭り会、避難訓練、全国ユニットケア研修発表（神戸市）

※ちょっこし外出～随時

※笑笑（にこにこ）便り 年4回発行

ク) 各種研修会及び会議への出席状況

- ・認知症介護実践研修
- ・栄養士研修
- ・ユニットリーダー研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・ケアマネ研修
- ・身体拘束廃止（権利）研修

施設外研修 合計 26回

職員会、主任者会 毎月

リハビリ指導（相談）毎月

各種委員会 随時

【考 察】

①収入について

事業収入は、全体では315,936千円の計画に対し、319,080千円であった。

（前年対比 101.2%）（計画対比 101.0%）

今年度、長期は計画・前年実績に対して上回ってはいるが、短期が計画・前年実績には及ばなかった。この要因については、近隣地域に施設整備が進められたこともあり、在宅に重度の要介護者が減少しているものと考えられる。今後も更に分析を続けて居宅介護支援事業所や関係機関との連携強化を図りながら、利用者増加を目指して収入の安定につなげたい。

②感染症について

今年も全国的にインフルエンザやノロウイルス等の感染症が猛威を振るうなか、当苑は数名の職員と利用者がインフルエンザに感染した。しかし、施設内に蔓延してしまうということはなく感染被害を最小限に食い止めることができたと思う。今後も感染対策委員会を中心として対策強化を図っていく。毎年のことだが、まずは職員自身が感染しないように、手洗い、うがい、消毒、マスクの着用を励行し、感染症予防と対応に努めていきたい。

③施設サービスについて

今年も第 16 回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー（神戸市）へ参加し、当苑の取り組みを発表することが出来た。日々の取り組みを実践・発表することで、目標が明確になり、職員間あるいは多職種の連携も強化することができる。今後も自分たちのケアを振り返りながら、職員個々のレベルアップを図り、施設サービスの向上につなげたい。

④家族会行事について

年間計画である奉仕作業・夏祭り・敬老祝賀会を計画通りに実施できた。

苑から出掛ける“ちょっこし外出”の企画では、わずかな時間でも利用者が自宅に帰り、家族や近隣の皆さんと一緒に過ごすことが出来て、利用者や家族に大変好評をいただいている。

⑤実習生・ボランティア・地域交流について

専門学校生や研修機関の実習生受け入れを積極的に行っているが、介護職を目指す若者がいないという現実があり、介護業界全体での対策が必要である。

⑥ターミナルケアについて

施設で最期まで看取った方は 8 名（15 名中）であった。半数以上の方を施設で看取っており、今後医療・看護・介護の連携を密にして体制を充実させたい。

⑦資質向上の取り組みについて

施設内・外部研修に積極的に参加した。

これからも引き続き施設内・外部研修および施設間交流に積極的に参加し、職員の資質向上につなげたい。

※平成 28 年度資格取得者

・介護福祉士 1 名

⑧今後の課題

- 1) 介護人材確保
- 2) 経営の悪化
- 3) 施設設備の老朽化

養護老人ホーム宇寿荘

(入所定員：80名)

1. 入所等の状況（平成29年3月31日現在）

出身地	小計	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
雲南市	71	27	9	21	7	4	2	1
出雲市	3	3						
奥出雲町	2						1	1
合計	76	30	9	21	7	4	3	2

2. 入所者の実績

	入所者数	退所者数	平均入所数	稼働率
H27	16人	15人	78.1人	97.6%
H28	12人	14人	77.7人	97.1%

3. 事業収入（単位：千円） 前年対比：110.9% 計画対比：108.1%

	介護保険事業	老人福祉事業	合計
H27	66,862	150,054	216,916
計画	76,979	145,622	222,601
H28	90,792	149,775	240,567

4. 外部サービス提供状況（延べ） 月平均利用者数 41.8名 平均介護度 2.8

	利用人数	利用回数	前年対比	計画対比
基本サービス	502	22,017	108%	118%
訪問介護	491	67,780	139%	149%
通所介護	72	499	113%	141%
認知症通所	293	2,427	93%	92%
福祉用具	236	734	117%	129%
訪問リハ	49	377	123%	132%

5. 職員配置数（平成29年3月31日現在）

職種	員数	正規職員	臨時
施設長	1	1	
生活相談員	3	3	
事務職	2	1	1
看護職員	2	2	
支援員	15	8	7

介助員	2		2
管理栄養士	1	1	
夜間支援員	3		3
合計	29	16	13

6. 行事・事業の実施状況

4月	桜花見	10月	交通安全指導、秋季遠足
5月	交通安全指導、節句	11月	地域交流運動会、収穫祭、避難訓練
6月	創立記念日、家族会、健康診断	12月	クリスマス会、歳末法要、忘年会
7月	避難訓練、七夕祭り、収穫祭	1月	新年祝賀会
8月	盆法要、納涼祭	2月	節分、健康診断
9月	敬老祝賀会、彼岸法要	3月	彼岸法要、大社参拝

*その他、誕生会・健康体操・各クラブ活動は毎月実施

7. 研修参加状況

職場外研修合計 37回 延べ 47人参加

職場内研修合計 12回 延べ 177人参加

【考察】

- ① 経営基盤の安定について
 - ・介護保険収入は前年対比 116.5%、計画対比 122.3%であった。訪問介護の提供回数の増加が増収の要因である。
 - ・措置費収入は前年対比 100.3%、計画対比 102.9%であった。
 - ・雲南市の補助金を活用し、屋根等の大規模修繕を実施した。
- ② ご利用者・ご家族・地域の方に信頼される施設作りについて
 - ・楽しみ生きがい教室として生け花教室、書道教室などを月 1 回定期開催した。
 - ・地域児童、老人クラブ、他施設利用者などと交流会を実施し、利用者の地域交流の機会を作った。
- ③ 業務効率の改善とリスクマネジメントの構築について
 - ・感染症対策として、吐物処理の演習を行い迅速な初動対応に備え、感染症の蔓延を防止した。
 - ・業務改善委員会を中心に、業務改善や効率化、サービス向上に取り組んだ。
- ④ 人材育成の強化について
 - ・接遇マナー向上のためのコンテストを実施した。職員間でよいところを認めあう機会を作り、モチベーションの向上を図った。
 - ・研修テーマを職員間で考え、内部研修を月 1 回定期開催し、必要なスキルを習得した。

デイサービスセンター愛あいの家

(利用定員：12名)

1. 利用状況

年 度	開設日数	延べ利用回数	延べ利用者数	月平均利用者数	1日平均利用者数
H27	257日	2,568回	262人	21.8人	10.0人
H28	256日	2,427回	293人	24.4人	9.5人

2. 介護度別延べ利用回数

年 度	要支援	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	平均介護度
H27	35	1486	314	384	247	102	1.9
H28	205	1270	419	283	148	102	1.8

3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：89.0% 計画対比：92.2%

年 度	介護保険事業	その他	合 計
H27	23,702	182	23,884
計画	23,050	1	23,051
H28	21,247	1	21,248

4. 職員配置状況 (平成29年3月31日現在)

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	合 計
1名 (兼務)	1名 (兼務)	2名	1名 (兼務)	5名

5. 行事・事業の実施状況

4月	花見ドライブ	10月	調理レク (おやつ作り)
5月	園芸週刊	11月	秋の運動会・紅葉ドライブ
6月	端午の節句 (笹巻団子作り)	12月	忘年会・鍋会食・クリスマス会
7月	行事食 (団子汁作り)	1月	新年お茶会
8月	七夕祭り会	2月	節分
9月	敬老会 (宇寿荘合同)	3月	ひな祭り

【考察】

- ① 経営基盤の安定について
 - ・ 事業収入は前年対比 89.0%、計画対比 92.2%であった。
 - ・ 水道光熱費などのコスト削減により業務効率化を図った。
- ② 職員の資質向上について
 - ・ 利用者アンケートやミーティング等で接遇面やサービスの向上を図った。
 - ・ 宇寿荘と合同の内部研修会に参加し、専門性を高めた。
- ③ 地域との連携強化について
 - ・ 職場体験実習の受け入れ、宇寿荘との合同の地域交流会、保育園へ作品を持参して交流をするなど地域交流を図った。
 - ・ 運営推進会議を年 2 回 9 月、3 月に実施し、意見交換を行いサービス向上に努めた。
- ④ リスクマネジメントの強化について
 - ・ 利用者の心身の状態に合わせて個別支援を実施すると共に、事故防止に努めた。
 - ・ 宇寿荘と情報共有を図りながら、手洗い・うがいの励行を促し、感染予防に努めた。

ヘルパーステーションかも

【介護保険】

1. 介護度別利用者数（累計） 利用者数前年対比：94.4 %

年 度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
H27	27	48	54	98	17	33	27	304	1.9
H28	16	54	47	91	44	12	23	287	2.0

2. 利用状況 サービス提供回数 前年対比：104.9 %

【介護保険】

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均訪問	1日平均訪問	1月利用者数
H27	366日	6,057回	504.8回	16.5人	25.3人
H28	365日	6,352回	529.3回	17.4人	23.9人

【障害者総合支援ヘルプ】 訪問回数 前年対比：117.5 %

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
H27	123人	1,213回	101.1回	10.3人	9.9回
H28	147人	1,425回	118.8回	12.3人	9.7回

【生活管理指導員派遣事業・生活支援ヘルプ】 訪問回数 前年対比：42.9 %

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
H27	23人	170回	14.2回	1.9人	7.4回
H28	9人	73回	8.1回	1人	8.1回

2. 事業収入（単位：千円） 前年対比：106.7 % 計画対比：117.6 %

年 度	報酬収入（※）	負担金収入	自立支援給付費	生活管理指導員	外部受託収入	合 計
H27	17,035	1,829	5,946	364	4,526	29,700
計画	15,293	1,934	5,367	257	4,080	26,931
H28	16,876	1,786	7,174	156	5,688	31,680

3. 職員配置状況（平成29年3月31日現在）

管理者(サ責兼務)	サービス提供責任者	訪問介護員	登録ヘルパー（パート）
1名	3名	1名	11名（内1名産休） （常勤換算3名）

【会議、研修会出席状況】

*ヘルパーミーティング、訪問部会（毎月） 各種委員会（随時）

*雲南地域訪問部会研修（3回） 職場内研修（4回） 職場外研修（8回）

【考察】

① 介護保険事業について

利用者の死亡、入所等で利用者数減少するが、重度化により訪問回数が増えたため、計画に対し事業収入も若干増となる。

② 自立支援事業について

利用者の入院等もあったが新規利用者もあり収入は増加した。

③ 生活管理派遣事業について

12月より介護保険に移行となり、その後新規もなく利用者ゼロとなった。

④ 外部サービスについて

宇寿荘と連携を図り積極的に訪問した。

⑤ 利用者アンケートについて

利用者、家族全員から「今後もぜひヘルパーを利用したい」との結果だった。今後更に満足度が高まる様に努力していきたい。

⑥ 広報誌による情報提供について

アンケート結果等を広報誌（年1回）に掲載し、情報提供を行った。

⑦ 登録ヘルパーの確保について

新規に登録ヘルパー1名を確保し、スムーズな訪問対応に努めた。

⑧ 資質向上について

研修会への積極的な参加（登録ヘルパー含む）により職員の資質向上に努めた。

今年度は「老人福祉施設協議議会事例発表」を行うに当たり、職員で事例検討、振り返り、利用者の状況等確認しながら原稿作成等を行い発表が出来た。職員の対応評価も行い情報共有する事で今後のサービス提供の資質向上に繋げた。

⑨ 実習生の受け入れについて

実習生の受け入れを行い介護人材の育成に協力した。

⑩ 適切なケアの実施について

「自己評価」の実施やケアの平準化、ヘルパーミーティングでの情報共有を図り、利用者の状態に適したケアの実施に努めた。

加茂デイサービスセンター

(利用定員 35 名)

1. 介護度別利用者数 (累計) 利用者前年対比 : 96.1%

年 度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度
H27	72	257	252	235	91	68	51	1,026	1.5
H28	71	246	185	267	98	61	58	986	1.8

2. 利用状況 サービス利用回数 前年対比 : 97.9%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1人平均利用	1月利用者数
H27	308日	8,729回	727.4回	28.3人	8.5回	85.5人
H28	308日	8,547回	712.2回	27.8人	8.7回	82.2人

3. 事業収入 (単位 : 千円) 前年対比 : 103.7% 計画対比 : 105.4%

年 度	報酬収入 (※)	負担金収入	食費等利用料収入	外部受託収入	合 計
H27	63,991	7,060	5,638	2,901	79,590
計 画	62,740	7,006	5,579	2,982	78,307
H28	66,135	7,468	5,353	3,569	82,525

4. 職員配置状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

課長 (※1)	係長 (看護・機能訓練・口腔兼務)	生活相談員 (※2)	看護職員 (嘱託)	作業療法士
1名	1名	2名	1名	1名
介護職員 (※3)	送迎運転手 (パート)			
9名	4名			

※ (※1) は、管理者・生活相談員兼務

※ (※2) は、介護職員兼務

※ (※3) は、専従 5 名、嘱託 1 名、臨時 2 名、障がい者雇用 1 名

5. 事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ	10月	外出 (玉峰山荘)・運動会
5月	外出 (由志園)・園芸	11月	外出 (一畑薬師)・ドライブ
6月	外出 (出雲大社)・笹巻作り・ドライブ	12月	忘年会・鍋会
7月	二十三夜祭り・ショッピング・カラオケ	1月	初詣・初釜
8月	ドライブ・ショッピング	2月	節分
9月	敬老会・園芸・外出 (花の郷)	3月	園芸・ドライブ

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年4回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回(12月)	職員個人面談	2回
職場体験学習(中高生)	3名	実習生受入れ(トリニティカレッジ)	1名
介護職員初任者研修	1名	介護者の会	9回

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
将棋サロン	4回	児童クラブ	8回
チャレンジスクール	1回	からたちばな展示	1回
よっといで祭り作品展示	1回	小学生茶道クラブ	1回
ふれあい祭り参加	1回		

(4) 会議・研修会出席状況

【会議】

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会	1回	職員会、各委員会	12回
雲南市ケア会議	1回		

【研修会】

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
通所介護部会研修(雲南・県)	10名	老施協県大会	1名
通所介護交流研修	1名	他 外部研修(人材育成)	15名
認知症実践者研修	1名		

【考察】

- ① 事業収入について
 - ・5月より中重度ケア体制加算を算定したことにより前年対比、計画対比ともに増加している。
 - ・1月から3月にかけて重度の方が亡くなられた。また、大雪のためキャンセルが多く、冬季の利用が減ったこともあり、前年度の利用回数には及ばなかった。
- ② 個別ケアについて
 - ・中重度ケア体制加算、認知症加算等の加算を算定することで、今まで以上に個々のケアについて検討する機会が増えた。
- ③ 職員の資質向上について
 - ・伝達研修や勉強会を定期的実施し資質向上に努めた。
 - ・事業所内で事例発表を行い、日頃の取り組みを見直す機会となった。
- ④ 家族との連携
 - ・年1回の家族会に加え、新たな取り組みとして介護者の会を6月より月1回開催した。また、アンケートの実施によりご利用者、ご家族との思いを共有する機会がもてた。
- ⑤ 地域貢献、地域交流

- ・児童クラブ、将棋サロンの方との交流は定着してきた。敬老会、忘年会のボランティアには地域の方に大勢きていただき、交流も図れた。
- ・ご利用者とプランターに植えた花をかもてらずに飾ることを実施した。

デイサービスセンターほほえみ

(利用定員 12 名)

① 介護度別利用者数 (累計) 利用者数 前年対比 : 97.0 %

年 度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度
H27	0	5	103	93	45	10	16	272	2.0
H28	1	0	100	103	46	4	10	264	1.93

② 利用状況 サービス利用回数 前年対比 : 92.6 %

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1月利用者数
H27	303 日	3,080 回	256.7 回	10.2 人	22.7 人
H28	308 日	2,853 回	237.8 回	9.3 人	22.0 人

③ 事業収入 (単位 : 千円) 前年対比 : 91.3% 計画対比 : 94.3%

年 度	報酬収入 (※)	負担金収入	食費等利用料収入	合 計
H27	34,513	3,756	1,885	40,154
計 画	33,349	3,639	1,874	38,862
H28	31,525	3,446	1,681	36,652

(※) 広域連合拡大給付含む。

④職員配置状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

課長 (※1)	生活相談員	看護職員	介護職員 (※2)	送迎運転手
1 名	2 名 (介護兼務)	1 名	3 名	3 名 (パート)

※ (※1) は、管理者・看護職員・生活相談員兼務

※ (※2) は、1 名専従、1 名臨時、パート常勤換算 0.5 名、他事業所との兼務 0.5 名

① 事業の現地状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4 月	花見ドライブ (桜)・ショッピング	10 月	ミニ運動会・カレー作り・福祉まつり作品作り・干し柿作り
5 月	カレー作り・花見ドライブ (つつじ)・チャレンジデー参加	11 月	ドライブ・花植え・おやつ作り (蒸しパン作り)
6 月	笹巻作り・花見ドライブ (紫陽花)	12 月	クリスマス会 (踊り・マジック・ダンス)・忘年会 (ちらし作り)
7 月	おやつ作り (フルーツポンチ)・避難訓練	1 月	初釜

8月	七夕飾り・職員寸劇・花見ドライブ (ひまわり)	2月	節分
9月	敬老会 (歌・踊り・寸劇)	3月	おやつ作り (桜餅作り)

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年2回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回 (12月)	職員個人面談	1回
運営推進会議	2回 (9月・3月)	介護者の会	9回

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
児童クラブ	1回 (12名)	チャレンジスクール	2回

② 会議・研修会出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
サービス担当者会議	随時	職員会議	12回
通所介護部会総会	1回	通所介護部会役員会	2回
認知症地域支援推進協議会	1回	集団指導	1回
運営会議	6回	ケース検討会	随時

(2) 研修会

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会研修会	2回 (10名)	リスクマネジメント研修	1名
認知症実践者研修	1名	認知症ケア研修会	1名
苦情解決研修会	1名	認知症対策研修会	1名
接遇マナー研修	1名	福祉職員キャリアパス研修会	1名
地域医療従事者スキルアップセミナー	1名	職員全体研修 (交通安全・接遇・メンタルヘルス・感染症)	4回 (25名)
職場内交流研修	1名	認知症対応力向上研修	1名
ドライビングスクール	1名		

【考察】

①事業収入について

前年対比91.3%、計対比94.3%と下回った。新規利用者もあったが、重度の方の入院、独居の方の施設入所などが重なったことやショート利用が多か

ったことで、1日の利用目標である10名の確保が難しかったことが下押しの要因となった。

なお、2月以降は利用回数が増加傾向にあり、29年度に向けて収入の安定に繋げたい。

②資質の向上について

今年度は職員が1名他の事業所との兼務で多く配置できたため、認知症実践者研修や他の研修に参加することができ資質の向上を図ることができた。

③感染症について

・インフルエンザについては家族のみ感染され、早めの対応にて利用者への感染はなかった。

・手洗い、うがい、消毒、マスクの着用を励行し、感染症予防に努めた。

4 地域交流について

・児童クラブとの交流を行いご利用者には喜んで頂いた。

・運営推進会議（9月・3月）を開催し、地域住民や行政と意見交換を行った。

5 家族との連携について

・12月に家族会を開催し、紙パンツの使用方法等排泄について学んでいただいた。

また、生活ビデオを通して日常の様子などを見て頂き意見交換を行った。

・介護者の会では介護の悩みなどを共有することができ、大変有意義であった。

かも福祉会居宅介護支援事業所

1. ケアプラン作成数 前年対比：103.5%

年度	ケアプラン作成数（介護）	ケアプラン作成数（予防）	合計	月平均ケアプラン作成数	ケアマネ1人当り月平均作成数
H27	1,280	472	1,752	146.0	32.4
H28	1,379	435	1,814	151.1	33.5

2. 介護度別ケアプラン作成数

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
H27	190	282	460	464	163	119	74	1,752	1.55
H28	124	311	399	580	221	101	78	1,814	1.86

3. 事業収入（単位：千円） 前年対比：106.4% 計画対比：103.1%

年度	居宅介護支援介護収入	包括支援C受託収入	訪問調査受託収入（※）	合計
H27	19,770	2,084	419	22,273
計画	20,493	2,100	389（80件）	22,982
H28	21,402	1,906	389	23,697

※（※）欄の計画の（ ）内は、訪問調査件数

4. 職員配置状況（平成29年3月31日現在）

課長（管理者） 主任介護支援専門員	主任	介護支援専門員	介護支援専門員 （兼務）
1名	1名	2名	0.5名（※）

※（※）は、ほほえみと兼務

5. 会議・研修会

定期的な会議（週1回）の開催。

雲南、県協会研修会・地域ケア会議・虐待、メンタルヘルス、苦情等の研修参加
～個々の研修計画に添った研修参加（一人平均約7～8回）。

【考察】

① ケアプラン作成数について

新規の受け入れは断ることなく受けた（月平均4件）結果、介護、予防合わせた作成数は約60件増加した。

来年度は職員体制も整い、今後も継続して新規受け入れに務めていきたい。

② 事業収入について

介護収入の内、特定事業所加算Ⅱ（400単位）の算定で約550万円を占めている。定期的

な新規受け入れによる件数増、予防の介護化が影響し、前年、計画対比ともに上回った。

③ 資質の向上について

主任ケアマネの更新(3名)の受講要件や特定事業所加算を算定するための要件を満たし、継続して算定することができるよう研修へ参加し、また、そのほかにも種々の研修会に参加して個々のケアマネの質の向上に努めた。

④ 地域貢献について

地域住民に対し認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深めていただいた。

かも社会就労センター（利用定員 30 名）

1. 利用者の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

利用者数	33 名（男性 22 名・女性 11 名）
内 訳	身体 9 名 ・ 知的 16.5 名 ・ 精神 6.5 名 ・ 難病 1 名
年齢状況	平均年齢 49 歳 ・ 最高齢 73 歳 ・ 最年少 27 歳

2. 利用状況 前年対比：104.7%

年度	開所日数	実契約者数	延べ利用者数	月延べ利用者数	1 日当たり利用数
H27	307 日	34 人	6,487 人	540.6 人	21.1 人
H28	309 日	33 人	6,796 人	566.3 人	21.9 人

3. 受託取引業者と作業内容

業者名等	作業内容
株式会社 山光	自動車部品の加工
特別養護老人ホーム笑寿苑	洗濯・掃除
ナカバヤシ株式会社	ファイルの加工
雲南市・加茂総合センター	信書便事業（H25.3～） 加茂信書便（H28.4～）
株式会社協栄ファスナー	自動車部品の加工
就労センター	つつじホール事業（会議室の掃除、葬儀の準備・後片付け作業）
株式会社ソノ	タオルの袋詰め作業
有限会社小早川製粉	蕎麦の実袋詰め作業（不定期）
ヒカリ電子工業株式会社	箱詰め作業
就労センター	味噌加工事業（合同作業）
株式会社シンメイ	食品カップ等袋詰め作業（H28.5～）

4. 就労支援事業収入（加工賃売上高） 前年対比：105.3% （単位：千円）

年 度	受託加工事業 (管理費消費税含)	清掃活動事業	味噌加工事業	つつじホー ル事業	信書便事業 (※)	合 計
H27	4,404	1,728	570	1,150	2,448	10,300
H28	4,835	1,728	565	1,041	2,680	10,849

5. 事業収入 前年対比：103.6% 計画対比：113.4% （単位：千円）

年 度	訓練等給付費（※1）	利用者負担金	計画相談支援（※2）	合 計
H27	43,633	100	2,581	46,314
計 画	40,337	48	1,953	42,338
H28	45,479	1	2,544	48,024

※（※1）は、処遇改善加算を含む。

※（※2）は、計画相談支援給付費収入、委託収入、区分調査費収入含む

6. 行事・事業の実施状況

4月	花見会食	10月	一日研修旅行
5月	牡丹見学 交通安全教室 チャレンジデー	11月	避難訓練
6月	笹巻き 避難訓練	12月	忘年会
7月	花の郷見学	1月	新年会
8月	七夕祭り	2月	猪汁会
9月	(※) 民謡を楽しむ会	3月	茶話会 (※) 土砂災害避難訓練

※ (※) は、今年度初めて実施

7. 会議・研修会の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
ワーキング部会	3回	就労支援専門部会	2回
自立支援協議会定例会	4回	障がい者就業生活支援センター専門会議	1回
精神障がい者地域定着支援会議	1回		
相談支援部会	3回	集団指導	1回
地域部会	2回	職員会議・ケース検討会	12回

研修会名	人数	研修会名	人数
障害者支援区分認定研修	1名	ファシリテーター養成研修	1名
食品適正表示研修会	1名	生活困窮者自立支援研修	1名
苦情解決研修会	1名	罪を犯した人の支援に携わる福祉関係者研修会	1名
引きこもり支援研修会	1名	福祉職員キャリアパス対応研修	1名
信書便自主点検実施報告 中国信書便管理者実務講習会	1名	雲南基幹型相談支援センター研修会	1名
相談支援従事者スキルアップ研修	1名	サビ管・相談支援員連絡会 就労移行支援者研修	2名
障害者雇用促進セミナー	1名	高次脳機能障がい研修	1名

8. 職員配置状況 (平成29年3月31日現在)

管理者	係長 (相談支援専門員)	生活支援員	職業指導員
1名	1名	4名 (内2名臨時)	2名 (内1名臨時)

9. つつじホール事業

	ミーティングルーム		研修室		葬儀（研修室利用数の内数）	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28
4月	10	12	6	10	6	10
5月	6	8	2	5	2	5
6月	7	8	4	5	4	5
7月	12	10	6	4	6	4
8月	9	7	6	3	6	3
9月	5	9	4	6	4	6
10月	10	9	4	4	4	3
11月	11	17	6	9	6	8
12月	6	7	6	5	6	5
1月	9	10	9	8	9	8
2月	9	8	9	5	9	5
3月	16	10	13	5	12	5
合計	110	115	75	69	74	67

【考察】

①事業収入について

就労支援事業収入は、木耳事業撤退の影響はさほどなく新規事業受託、加茂信書便が増えたことから対前年比で増となった。事業収入については前記の受託作業増に合わせ月平均利用者数が伸びており、個々の利用者の欠勤が減少していることが収入増の要因となっている。知的・精神障害による不穏となる利用者の対応や行事の充実で安定した利用者確保に努めたい。

②利用者の確保について

平成29年4月町内に就労B型事業所が開設され、2名のご利用者を引き抜かれた。今後は事業所として選択される就労センターを意識し、更なる高みを目指したい。

③実習生の受け入れについて

養護学校、専門学校、ホームケア等より実習生を、年間14名延べ64日間積極的に受け入れた。実習体験により養護学校生が好感をもち、当就労センターの利用が決まったことは学校との連携強化に繋がり三刀屋分校から卒業式にも招かれた。就労センターの広報、創刊号を発行、家族や関係機関、事業所に配布し周知に努めた。

④行事について

ご利用者にとってただ作業だけでは魅力ある就労場所にはならない。子育て支援センターの児童を招き茶話会をしたり行楽日を設けるといきいきした表情が見られた。今後も企画を工夫し楽しみのある就労の場としていきたい。

⑤相談支援について

相談支援は新規件数 1 件あったが移行等あり減となった。今年度初めて障害支援区分認定調査を実施し収入につなげている。

⑥職員の資質向上について

内部・外部の研修に積極的に参加した。ケース検討会を毎月行い利用者情報を共有し対応を話し合った。また、車輛自主点検を毎日行い安全運転を奨励した。

⑦つつじホール利用状況について

ミーティングルームは新規利用があり利用増となった。葬儀利用は、葬儀場が増えたことから他町の方の利用が目立って減った。駐車場の整備で利用増加に期待したい。

事業収入集計（単位：千円）

（進捗率 100%）

事業所名	前年度	計 画	実 績	前年対比	計画対比
笑寿苑	315,346	315,936	319,080	101.2%	101.0%
宇寿荘	216,916	222,601	240,567	110.9%	108.1%
愛あい	23,884	23,050	21,248	89.0%	92.2%
ヘルプ	29,700	26,931	31,680	106.7%	117.6%
加茂デイ	79,590	78,307	82,525	103.7%	105.4%
ほほえみ	40,154	38,862	36,652	91.3%	94.3%
居宅支援	22,273	22,982	23,697	106.4%	103.1%
かも就労	46,314	42,338	48,024	103.6%	113.4%
合 計	774,177	771,007	803,473	103.8%	104.2%

加茂健康福祉センター かもてらす

■入館者数 前年対比：103.2%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27	3,088	2,879	2,654	3,121	2,885	1,463	3,124	2,719	2,445	2,496	2,792	2,774	32,440
H28	2,373	2,764	2,655	3,852	3,118	2,910	3,926	2,505	2,237	2,396	2,425	2,322	33,483

【考察】

入館者数については、前年9月に1カ月半かけて浴室の改装工事を行った関係もあってその分増加している。

また、RDF ボイラーについては、年間を通して順調に運転稼働できた。

■入浴者数 前年対比：113.1%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27	1,412	1,548	1,353	1,582	1,549	0	686	1,374	1,539	1,621	1,685	1,666	16,015
H28	1,570	1,754	1,453	1,750	1,605	1,504	1,543	1,419	1,326	1,331	1,366	1,495	18,116

【考察】

入浴者数についても、前年9月に1カ月半かけて浴室の改装工事を行った関係でその分合計数では増加しているが冬場に客足が減っており、ホームページ等広報の充実を図りたい。